

第132回日本小児精神神経学会

The 132nd Meeting of Japanese Society of Pediatric Psychiatry and Neurology



子どもと家族の 多様な育ちを多職種で支える

会期 令和6年11月30日(土)~12月1日(日)

会場 東海国立機構 名古屋大学 豊田講堂

大会長 永田 雅子 名古屋大学心の発達支援研究実践センター教授

共催: 東海国立機構  名古屋大学 心の発達支援研究実践センター



第132回日本小児精神神経学会

The 132nd Meeting of Japanese Society of Pediatric Psychiatry and Neurology



子どもと家族の多様な育ちを多職種で支える

大会プログラム

特別講演

1
日
目

タイトル未定

Campbell Paul

Consultant Infant Psychiatrist : Mental Health Royal Children's Hospital
/ President of WAIMH / Australia

特別企画

11
月
30
日
土

家族の育ちを支えるために

— 医療的ケア児のいる家族からのメッセージ

父:村瀬 元哉 母:村瀬晴美

きょうだい:村瀬 克之 ご本人:村瀬 正之

(聞き手)田倉 さやか

*託児あり
●懇親会予定

教育セミナー

2
日
目

療育手帳の交付判定を目的とした知的機能
／ 適応行動の評価検査の開発

村山 恭朗

金沢大学人間社会研究域

教育講演 1

12
月
1
日
日

超早産児神経発達症と神経発達症 — 違いを知って、
生涯の支援を

出口 貴美子

キッズ&ファミリークリニック出口小児科医院/超早産児神経発達症研究会

シンポジウム

ライフステージを見通して子どもたちに必要な支援を考える

◎子どもの社会的行動のアセスメントと支援—自治体の乳幼児健診をもとに(仮)

別府 悦子 中部学院大学教育学部

◎発達特性のあるお子さんの運動発達と不器用さに対する支援(仮)

佐野 美沙子 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻作業療法学講座

◎児童期の学習への支援(仮)

福井 美保 大阪大谷大学教育学部/大阪医科薬科大学小児科

◎青年期の自己理解を支援する立場から(仮)

林 陽子 名古屋大学学生支援本部学生相談センター/心の発達支援研究実践センター

指定討論:山崎 知克 浜松市子どものこころの診療所